

## ☆「424 愛知共同行動」**アピール**を確認しました。

\*1月9日に発足した「424 愛知共同行動」として、『アピール』を策定しました。

各組織等において活用してください。 「424 愛知共同行動」アピール全文は裏面参照)

424 名指し病院—愛知県内 9 病院の実態 (木曾川市民病院・津島市民病院・あま市民病院・コロニー中央病院・みよし市民病院・碧南市民病院・国立東名古屋病院・中日病院・ブラザー記念病院)

### ⑤みよし市民病院(所在地:みよし市三好町八和田山15番地)

歴史—昭和 39 年三好町農業協同組合より三好町へ移譲移管され「三好町立三好診療所」となる。昭和 49 年入院(18 床)を開始。昭和 52 年「三好町立三好病院」(56 床)。平成13年新病院開設。平成 19 年 122 床(一般 68、療養 54)。平成 22 年市制施行に伴い「みよし市民病院」と改称。西三河北部医療圏唯一の自治体病院。

#### 病床機能報告と、2025 年の病床計画

みよし市民病院					
年度	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
2017年	122	0	68	0	54
2018年	122	0	68	0	54
2025年計画	122	0	68	0	54
差引	0	0	0	0	0

2017 年度の「急性期」68 床の診療実績にもとづき、名指しされましたが、病院の **2025 年病床計画は、現状維持の計画**となっています。よって、あえて病床を削減したりする必要はないと考えます。ただし、今後の議論によっては、公立病院が急性期以外の機能を持つ必要があるのか？という点が問題となるかも知れません！

一部に民間に任せるべきとの論点があるため。よって、地域的に「慢性期」機能を担う必要性を根拠を持って説明する必要があります。

### ⑥碧南市民病院(所在地:碧南市平和町3-6)

歴史—昭和 37 年市民から市民病院建設の陳情。昭和 63 年診療開始(16 科、200 床)。その後地域の必要から増床を繰り返す。平成 30 年開設 30 周年。平成 31 年 319 床(急性期一般 274、地域包括ケア病棟 45)。

#### 病床機能報告と、2025 年の病床計画

碧南市民病院					
年度	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
2017年	320	0	280	40	0
2018年	320	0	280	40	0
2025年計画	320	0	280	40	0
差引	0	0	0	0	0

2017 年度の「急性期」280 床の診療実績にもとづき、名指しされましたが、病院の **2025 年病床計画でも、「急性期」280 床の現状維持の計画**となっています。よって、あえてこれ以上の病床を削減したりする必要はないと考えます。ただし、今後の議論によっては、公立病院が急性期以外の機能を持つ必要があるのか？という点が問題となるかも知れません！

一部に民間に任せるべきとの論点があるため。よって、地域的に「回復期」機能を担う必要性を根拠を持って説明する必要があります。マスコミ報道によれば、病院の名指しリストにより、大規模改修工事(4月～)計画を凍結し、着工延期という事態となっています。その内容は 320 床を 289 床に削減し、個室病床を増やす計画でしたが、名指しにより、さらなる病床削減の検討が必要なために、実施計画の延期という状況です。

また、西尾市民病院との経営統合(病院それぞれで、経営は一つの地方独立行政法人化)の計画検討が行われており、「新たな公立病院改革プラン」の具体化の中で、西尾市民病院との役割分担等で、病床の増減や病床機能の分担・変更等が行われる可能性があります。よって、今後の経営統合の具体化と地域医療構想における病床報告についてその推移を見守る必要があります。

## 地域の実情や実態を無視した 424 病院の再編・統合「再検証」リストを

### 白紙撤回し、地域医療の拡充を求める アピール

厚生労働省が9月26日、再編・統合の必要性があるとして424の公立・公的病院等の名称を公表した。今回の発表は、厚労省の「地域医療構想」による病床削減計画の策定が思うようにすすまない中で、ベッド削減先でありきの発表であり、地方自治や地域住民の要求を無視した発表に厳重に抗議します。

地域医療構想は、経済財政諮問会議（財界）が主導し、地域医療の切り捨てと医療を大企業の儲けの場とするための再編・医療費削減を目的に推し進められているが、国として医療構想に求めるべきものは、国民・住民の実情を真摯に受け止め、いのちを守る施策です。公立・公的病院は地域住民のいのちのとりです。地域医療の状況は、医師不足・看護師不足の中で受け入れ態勢が整わず、やむを得ず空きベッドとなっている実情も多く、また、度重なる患者負担増などにより、医療を受けたくても受けられない受診抑制の実態も広がっています。地域ごとに異なるその様相を無視して、一方的に病床削減計画ありきの姿勢は、国民のいのちを守る国の責任を放棄するものであり許されません。

愛知では、中日病院、ブラザー記念病院、国立東名古屋病院、津島市民病院、あま市民病院、木曾川市民病院、県コロニー中央病院、みよし市民病院、碧南市民病院の9病院が名指しされていますが、対象の病院だけでなく、厚労省の「地域医療構想」による病床削減計画による病床削減の強要にもつながりかねません。公立・公的全病院の問題であり、名指しの再編・統合「再検証」要請は撤回すべきです。

いま政府が行うべきことは、国民のいのちと健康を危険にさらす一方的な病床削減ではなく、医師・看護師・介護職員をはじめとした医療・介護の担い手を増やし、国民誰もが、いつでもどこでも、安心して十分な医療や介護が受けられるような体制を、国と自治体の責任で充実させることです。

病院つぶしと地域医療破壊、そして「町こわし」につながる公立・公的病院の再検証要請は許されないと、全労連や中央社保協、日本医労連、国公労連、全医労と自治労連は「公立公的病院等再編・統合阻止共同行動」として、「公立・公的424病院」への「再検証」要請の撤回、地域医療の拡充を求める取り組みをすすめています。愛知も「公立公的病院等再編・統合阻止愛知共同行動」（略称：424愛知共同行動）を1月9日に立ち上げ、全県の各公的病院の地域で、住民のための病院を守る運動をすすめます。

病院つぶしと地域医療破壊、そして「町こわし」につながる公立・公的病院の再検証要請に対して、住民のいのちを守り医療の充実の要求と、病院の雇用と労働条件改善の要求実現を一体として、地域住民とともに取り組みをすすめましょう。

以上

2020年1月9日

公立公的病院等再編・統合阻止愛知共同行動（略称：424愛知共同行動）

愛知県労働組合総連合（愛労連）

愛知県社会保障推進協議会（愛知社保協）

愛知県国家公務員労働組合共闘会議（愛知国公）

日本自治体労働組合総連合愛知県本部（自治労連）

愛知県医療介護福祉労働組合連合会（医労連）

全日本国立医療労働組合愛知地区協議会（全医労）